科目名：病態と治療論Ⅱ	必修	1単位(45時間)
(Internal Medicine Ⅱ)		

履修年次/時期：1年次　後期　　授業形態：講義

主担当教員：井上 大輔

主担当教員詳細：臨床医の経験を活かし、看護を行う上で必要な外科的治療について理解できるよう授業を行う
臨床の実例に即した内容を取り上げながら講義を展開していく。

担当教員名：

学修目的	外科的治療(手術)や麻酔法、手術を受けることによる生体への影響、術後合併症、外科的治療を受けるために必要な検査等、ショックの病態と分類、治療について学ぶ。同領域の、国試問題の演習を行う。 関連するCP：CP2,CP3　　科目No. KSI-119		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	1.外科的治療の特徴と必要性が理解できる。 2.外科的治療に関連した処置等が理解できる。 3.外科的治療を受けるために必要な検査が理解できる。 4.この領域の看護師国試を8割正解できる。		
授業概要	疾患の原因/症状/診断/検査/治療を学ぶ。外科的治療総論/検査/リハビリテーション医学を学ぶ。練習問題で間違った箇所は自習(復習)する。		
評価方法	定期試験および授業態度で評価を行う。 到達目標の到達度を自覚させる目的で各講義時間内に練習問題解答を提出する。 国試模擬試験が行われた場合は、本講座の評価に組み入れる。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】1.9時間 【復習】1.9時間		
教科書	① 系統看護学講座　臨床外科看護総論　医学書院 ② 必修ラスパ2027		
参考書	必要時、授業内で紹介する。		
オフィスアワー連絡先	必ずアポイントメントをとってください。教学部か、メールで連絡をお願いします。 井上大輔　d.inoue@kds.ac.jp 教学部　ktgakusei@kdu.ac.jp		

実施回	第1回	実施日	2026/09/07（月）	時限	4	班	
授業計画	外科治療の特徴と麻酔法 ①外科治療の特徴が理解できる。 ②麻酔法の種類が説明できる。	予習	教科書①第1章A、第3章A・Bを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	手術、全身麻酔、気管挿管、鎮静、鎮痛、筋弛緩、局所麻酔、脊髄クモ膜下麻酔、硬膜外麻酔、酸素療法、機械的人工呼吸				
授業形態	講義	担当	井上大輔				

実施回	第2回	実施日	2026/09/14（月）	時限	4	班	
授業計画	外科治療の実際 ①外科的基本手技が理解きる。 ②低侵襲手術について説明できる。	予習	教科書①第4章A・Bを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	切開（開頭術、開胸術、回復術）、縫合、抜糸、止血、胃管挿入、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術				
授業形態	講義	担当	井上大輔				

実施回	第3回	実施日	2026/09/28（月）	時限	4	班	
授業計画	手術侵襲に伴う生体の反応と術後合併症 ①国試問題演習Ⅰ ②手術侵襲と生体の反応について説明できる ③術後に起こりやすい合併症について説明できる。	予習	教科書①第1章B・D、第9章B・Cを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	手術侵襲、ムーアの分類、サイトカイン、手術部位感染（SSI）、術野外感染、感染対策チーム（ICT）、術後合併症				
授業形態	講義	担当	井上大輔				

実施回	第4回	実施日	2026/10/05（月）	時限	4	班	
授業計画	手術侵襲に伴う生体の反応と術後合併症 ①国試問題演習Ⅰ ②手術侵襲と生体の反応について説明できる ③術後に起こりやすい合併症について説明できる。	予習	教科書①第1章B・D、第9章B・Cを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	手術侵襲、ムーアの分類、サイトカイン、手術部位感染（SSI）、術野外感染、感染対策チーム（ICT）、術後合併症				
授業形態	講義	担当	井上大輔				

実施回	第5回	実施日	2026/10/26（月）	時限	4	班	
授業計画	外科治療と臨床検査 ①外科治療を受ける患者に必要な検査が理解できる。 ②外科治療と病理学的検査の関連が説明できる。 ③体腔穿刺の目的と方法が説明できる。	予習	教科書②第1章、第3章D第9章、第10章A・Bを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	検体検査、生体検査、生検（バイオプシー）、病理組織検査、呼吸機能検査、肺活量、1秒率、閉塞性換気障害、拘束性換気障害、心電図、脳髄液検査				
授業形態	講義	担当	棚橋泰之				

実施回	第6回	実施日	2026/11/02（月）	時限	3	班	
授業計画	外科治療における看護 ①術前の呼吸機能訓練の必要性が理解できる。 ②手術体位による影響について説明できる。 ③手術創部の観察と管理について説明できる。 ④周術期における輸液管理について説明できる。 ⑤ドレーン管理の目的と方法が理解できる。 ⑥手術室における看護について説明できる。 ⑦国試問題演習Ⅱ	予習	教科書①第1章E、第3章C、第8章、第9章Aを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				
		キーワード	術前オリエンテーション、禁煙、呼吸訓練、神経麻痺、褥瘡、ドレッシング、ドレッシング材、維持輸液、補正輸液、ドレーン、ドレナージ、ミルキング、器械出し看護師、外まわり看護師、サインアウト、タイムアウト				
授業形態	講義	担当	棚橋泰之				

実施回	第7回	実施日	2026/11/02（月）	時限	4	班	
授業計画	外科治療における看護 ①術前の呼吸機能訓練の必要性が理解できる。 ②手術体位による影響について説明できる。 ③手術創部の観察と管理について説明できる。 ④周術期における輸液管理について説明できる。 ⑤ドレーン管理の目的と方法が理解できる。	予習	教科書①第1章E、第3章C、第8章、第9章Aを通読する。				
		復習	授業ノートの整理				

	⑤ドレーン管理の目的と方法が理解できる。 ⑥手術室における看護について説明できる。 ⑦国試問題演習Ⅱ	キーワード	術前オリエンテーション、禁煙、呼吸訓練、神経麻痺、褥瘡、ドレッシング、ドレッシング材、維持輸液、補正輸液、ドレーン、ドレナージ、ミルキング、器械出し看護師、外まわり看護師、サインアウト、タイムアウト
授業形態	講義	担当	棚橋泰之

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/11/16（月）	時限	4	班	
授業計画	ショック ①ショックの種類が説明できる。 ②ショックに合併する病態が説明できる。 ③ショックの治療の減速が説明できる。 ④国試問題演習Ⅲ	予　習	教科書①第2章3を通読する。				
		復　習	授業ノートの整理				
		キーワード	心原性ショック、循環血液量減少性ショック、血液分布異常性ショック、心外閉塞・拘束性ショック、多臓器不全、SOFAスコア、播種性血管内凝固（DIC）、急性呼吸促拍症候群（ARDS）				
授業形態	講義	担当	井上大輔				